

# Economic Indicators

定例経済指標レポート

指標名: 主要経済指標予定 (2009年8月24日~8月28日)

発表日: 2009年8月21日 (金)

第一生命経済研究所 経済調査部  
担当 日本経済短期チーム  
TEL: 03-5221-4528

(8月24日~8月28日の主なイベント、指標予定)

	指標名	当社予測	市場予測	市場予測レンジ	前回結果
8月24日 (月)	14:00 7月チェーンストア販売統計 店舗調整後販売額 (前年比)	—	—	—	▲4.4%
8月25日 (火)					
8月26日 (水)	8:50 7月企業向けサービス価格指数 (前月比) (前年比)	— —	— —	— —	+0.4% ▲3.2%
	8:50 7月貿易統計				
	輸出金額 (前年比)	▲39.2%	▲38.4%	▲40.6%~▲32.0%	▲35.7%
	輸入金額 (前年比)	▲42.6%	▲42.4%	▲45.9%~▲39.0%	▲41.9%
	貿易収支 (原数値)	3,076 億円	3,800 億円	1,711 億円~5,990 億円	5,075 億円
8月27日 (木)					
8月28日 (金)	8:30 7月消費者物価指数・全国コア (前年比) 全国総合 (前年比)	▲2.2% ▲2.2%	▲2.2% ▲2.2%	▲2.3%~▲1.8% ▲2.4%~▲2.0%	▲1.7% ▲1.8%
	8:30 8月消費者物価指数・東京コア (前年比) 東京総合 (前年比)	▲1.8% ▲1.8%	▲1.8% ▲1.8%	▲2.2%~▲1.5% ▲2.1%~▲1.5%	▲1.7% ▲1.8%
	8:30 7月労働力調査 完全失業率	5.5%	5.5%	5.4%~5.6%	5.4%
	8:30 7月一般職業紹介状況 有効求人倍率	0.43 倍	0.43 倍	0.42 倍~0.45 倍	0.43 倍
	8:30 7月家計調査(農林漁家世帯を含む) 実質消費支出・全世帯(前年比)	▲0.9%	▲0.6%	▲2.0%~+0.3%	+0.2%
	実質消費支出・勤労者世帯(前年比)	▲2.3%	—	—	▲0.9%

(注) 市場予測は Bloomberg、日経 quick 調査をベースに作成

## 【重要指標の当社予測とコメント】

### 7月貿易統計・貿易収支額 (原数値) 当社予想: 3,076 億円 中央値: 3,800 億円

7月の貿易黒字額は3,076億円(原数値、前年比+275.5%)と、2ヶ月連続の前年比プラスを予想する。貿易黒字額は改善傾向にあることが改めて確認されよう。貿易統計の7月上中旬の輸出は前年比▲40.2%と前月から減少率が若干拡大したが、これは円高の進行により輸出物価が低下したことで価格が押し下げられている可能性が高く、実質ベースでみれば輸出は回復傾向が続いている。また、昨年の原油価格高騰の反動の影響を受けて、輸入が前年比▲44.1%と、輸出を上回るペースで減少していることから、総じて貿易黒字額は増加すると予想される。先行きについても、輸出に先行する米ISM製造業(新規受注)、OECD景気先行指数などの指標が比較的高い伸びで改善していることから、輸出は当面、増加傾向で推移するものと思われる。輸出の回復を主因として、今後も貿易黒字額の改善傾向が継続されよう。

(エコノミスト: 小杉 晃子)

### 7月全国消費者物価指数 (生鮮食品除く総合) 当社予想: 前年比 ▲2.2% 中央値: 同 ▲2.2%

7月の全国CPIコアは前年比▲2.2%を予想する。①石油製品価格が、昨年同時期に急上昇していた反動から、前年比でのマイナス幅を拡大させること、②食料品価格が、原材料価格の下落に伴う値下げや、昨年急上昇した反動等によってプラス寄与を縮小させること、③3~5ヶ月前の燃料価格下落を反映する形で電気代、ガス代が引き下げられること、④大幅な需給ギャップの存在に伴う物価下落圧力の強まりから食料・エネルギーを除く総合(米国型コア)の低下幅が拡大することなどを背景に、過去最大のマイナス幅を更新するだろう。(主任エコノミスト: 新家 義貴)

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

**7月完全失業率／有効求人倍率 当社予想：5.5％／0.43倍 中央値：5.5％／0.43倍**

7月の完全失業率は6月から0.1ポイント悪化の5.5%を予想する。生産など一部の指標は持ち直しているものの、雇用は景気の運行指標であり未だ悪化に歯止めはかかっていない。このため、失業率は過去最悪の水準である5.5%に達する公算が大きい。改めて厳しい雇用環境を確認する結果となるだろう。

先行きについても、雇用環境の悪化は続くと考えられる。新規求人数が増加に転じるなど一部では変化の兆しも現れ始めているが、企業の雇用過剰感は依然として強く、人件費削減のために雇用調整が続くと思われる。今後も失業率は上昇し、年末にかけて6%近くまで達すると予想される。

(エコノミスト：岩田 陽之助)

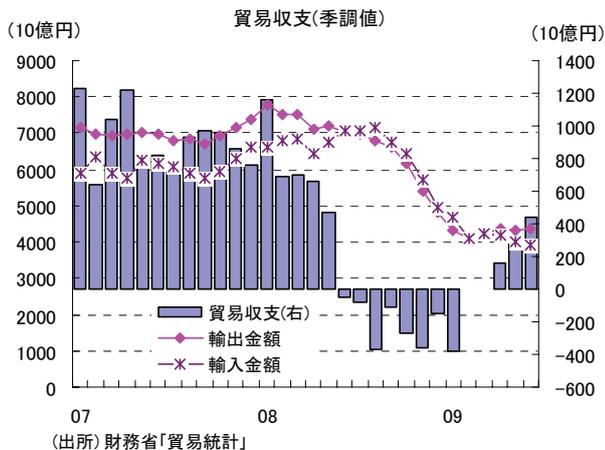
**7月家計調査（農林漁家世帯を含む） 当社予想：前年比 ▲0.9% 中央値：同 ▲0.6%**

7月の実質消費支出（全世帯）は前年比▲0.9%、前月比▲0.5%を予想する。足元で、消費者マインドは回復を続けているものの、7月は天候不順や夏のボーナスの大幅減などを受けて、夏物商材を中心として売れ行きが不振となったと考えられることから、実質消費支出も前月比でマイナスとなったと見込まれる。

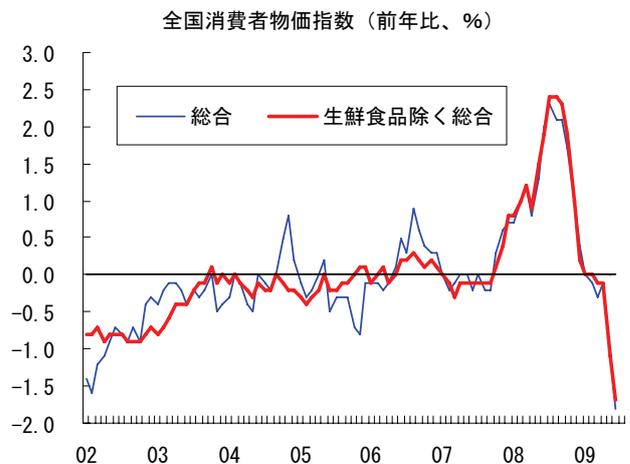
4－6月期のGDPベースの個人消費は前期比プラスに転じたものの、先行きについては、経済対策による追加的な押し上げ効果の弱まりや雇用・所得環境の悪化、冷夏などの悪材料もある。7－9月期は再びマイナスに転じる可能性もあるだろう。（エコノミスト：中本 泰輔）

以上

図表 1



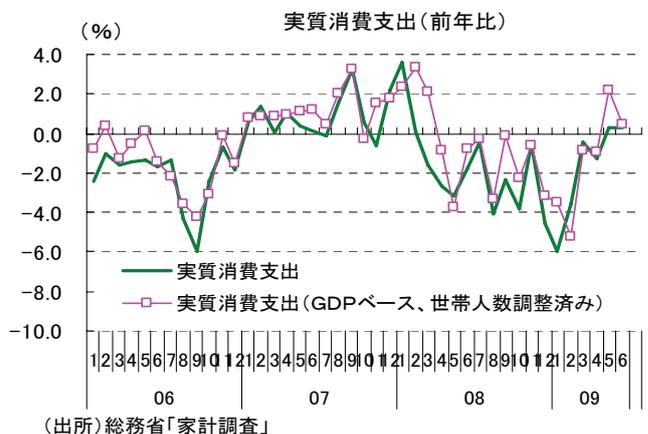
図表 2



図表 3



図表 4



本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見通しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

### 8月の経済指標公表スケジュール

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
8/3 6月毎月勤労統計(10:30) 7月自動車販売(14:00) 7月軽自動車販売(14:00)  (米)7月ISM製造業指数 (米)6月建設支出 (米)7月自動車販売 (米)7月ネット求人広告指数 (欧)7月製造業PMI(確)	4 7月マネタリーベース(8:50) 6月家計消費状況調査(14:00) 10年利付国債  (米)7月個人所得・消費 (米)6月中古住宅販売保留 (欧)6月生産者物価	5 (米)7月ISM非製造業指数 (米)6月製造業受注 (欧)7月サービス業PMI(確) (欧)6月小売売上高 (インドネシア)金融政策委員会	6 6月景気動向指数(14:00) 30年利付国債  (欧)ECB理事会 (英)BOE金融政策決定会合 (独)6月製造業受注	7 6月特定サービス産業動態統計調査(13:30)  (米)7月雇用統計 (米)6月消費者信用残高 (伊)4-6月期実質GDP(速) (独)6月鉱工業生産
10 6月機械受注統計(8:50) 6月国際収支(8:50) 7月マネーストック(8:50) 7月貸出・資金吸収(8:50) 7月景気ウォッチャー調査(14:00) 金融政策決定会合(～11日)  (仏)6月鉱工業生産	11 7月消費動向調査(14:00) 日銀総裁定例記者会見(15:30) 8月月例経済報告  (独)7月消費者物価(速) (韓)金融政策委員会	12 7月企業物価(8:50) 6月商業販売統計・確(13:30) 6月鉱工業指数・確(13:30) 8月金融経済月報(14:00)  (米)6月貿易収支 (米)7月財政収支 (米)FOMC (欧)6月鉱工業生産 (仏)7月消費者物価 ※(インドネシア)4-6月実質GDP	13 (米)7月輸入物価 (米)7月小売売上高 (米)6月企業在庫 (欧)4-6月期実質GDP(速) (独)4-6月期実質GDP(速) (仏)4-6月期実質GDP(速) (南ア)金融政策委員会	14 8月ロイター短観(8:30) 金融政策決定会合議事要旨(7月14,15日分)(8:50) 6月第3次産業活動指数(8:50) 7月投入・産出物価指数(8:50)  (米)7月消費者物価 (米)7月鉱工業生産 (米)8月ミシガン大消費者センチ(速) (欧)7月消費者物価(確) (香)4-6月期実質GDP
17 4-6月期GDP1次速報(8:50) 6月毎月勤労統計・確(10:30) 6月建設総合統計(14:00)  (米)8月NY連銀指数 (米)6月対米証券投資 (米)8月NAHB住宅市場指数 (欧)6月貿易収支	18 6月景気動向指数改訂(14:00) 7月全国百貨店売上高(14:30) 5年利付国債  (米)7月生産者物価 (米)7月住宅着工件数 (米)7月建設許可件数 (南ア)4-6月期実質GDP	19 6月全産業活動指数(13:30)  (欧)6月経常収支 (トルコ)金融政策委員会	20 7月コンビニエンスストア統計(16:00) 水野日銀審議委員挨拶  (米)7月景気先行指数 (米)8月フィラ連銀指数 (フィリピン)金融政策委員会	21 (米)7月中古住宅販売件数 ※(欧)8月製造業PMI(速) ※(欧)8月サービス業PMI(速) (メキシコ)金融政策委員会
24 7月チェーンストア販売統計(14:00)  (欧)6月鉱工業新規受注	25 20年利付国債  (米)8月CB消費者信頼感 (米)6月FHFA住宅価格指数 (独)4-6月期実質GDP(確) (マレーシア)金融政策委員会	26 7月企業向けサービス価格指数(8:50) 7月貿易統計(8:50)  (米)7月耐久財受注 (米)7月新築住宅販売件数 (独)8月Ifo景況感指数 (タイ)金融政策委員会 (メキシコ)4-6月期実質GDP	27 2年利付国債  (米)4-6月期実質GDP(改) (独)8月消費者物価(速) (フィリピン)4-6月期実質GDP	28 7月消費者物価・全(8:30) 8月消費者物価・都(8:30) 7月労働力調査(8:30) 7月家計調査(8:30) 7月一般職業紹介状況(8:30)  (米)7月個人所得・消費 (米)8月ミシガン大消費者センチ(確) (英)4-6月期実質GDP(速)
31 7月鉱工業指数(8:50) 7月商業販売統計(8:50) 7月毎月勤労統計(10:30) 7月住宅着工統計(14:00) 白川日銀総裁挨拶  (米)8月シカゴPMI (米)8月ネット求人広告指数 (欧)8月消費者物価(速) (インド)4-6月期実質GDP	9/1 8月自動車販売(14:00) 8月軽自動車販売(14:00) 10年利付国債  (米)8月ISM製造業指数 (米)7月中古住宅販売保留 (米)7月建設支出 (米)8月自動車販売 (欧)8月製造業PMI(速) (ニュージーランド)金融政策委員会	2 8月マネタリーベース(8:50)  (米)7月製造業受注 (欧)4-6月期実質GDP(改) (欧)7月生産者物価 (ニュージーランド)4-6月期実質GDP	3 (米)8月ISM非製造業指数 (欧)ECB理事会 (欧)8月サービス業PMI(確) (欧)7月小売売上高  (インドネシア)金融政策委員会 (ブラジル)金融政策委員会	4 4-6月期法人企業統計(8:50) 7月家計消費状況調査(14:00)  (米)8月雇用統計

(※)印は期日が未定のもの

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

9月の経済指標公表スケジュール

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
8/31 7月鉱工業指数(8:50) 7月商業販売統計(8:50) 7月毎月勤労統計(10:30) 7月住宅着工統計(14:00) 白川日銀総裁挨拶  (米)8月シカゴPMI (米)8月ネット求人広告指数 (欧)8月消費者物価(速) (インド)4-6月期実質GDP	9/1 8月自動車販売(14:00) 8月軽自動車販売(14:00) 10年利付国債  (米)8月ISM製造業指数 (米)7月中古住宅販売保留 (米)7月建設支出 (米)8月自動車販売 (欧)8月製造業PMI(速) (ニュージーランド)金融政策委員会	2 8月マネタリーベース(8:50)  (米)7月製造業受注 (欧)4-6月期実質GDP(改) (欧)7月生産者物価 (ニュージーランド)4-6月期実質GDP	3 (米)8月ISM非製造業指数 (欧)ECB理事会 (欧)8月サービス業PMI(確) (欧)7月小売売上高 (インドネシア)金融政策委員会 (ブラジル)金融政策委員会	4 4-6月期法人企業統計(8:50) 7月家計消費状況調査(14:00)  (米)8月雇用統計
7 (独)7月製造業受注	8 7月国際収支(8:50) 8月マネーストック(8:50) 8月貸出・資金吸収(8:50) 8月景気ウォッチャー調査 5年利付国債  (米)7月消費者信用残高 (独)7月鉱工業生産 ※(仏)7月鉱工業生産	9 7月景気動向指数(14:00) 須田日銀審議委員挨拶  (米)ページブック (独)8月消費者物価(確) (ロシア)4-6月期実質GDP	10 7月機械受注統計(8:50) 8月企業物価(8:50)  (米)7月貿易収支 (英)BOE金融政策決定会合 (伊)4-6月期GDP(確) (豪州)金融政策委員会 (韓)金融政策委員会 (トルコ)4-6月期実質GDP	11 4-6月期GDP2次速報(8:50) 7月特定サービス産業動態統計調査(13:30) 8月消費動向調査(14:00)  (米)8月輸入物価 (米)7月卸売在庫 (米)9月ミシガン大消費者センチ(速) (米)8月財政収支 (ブラジル)4-6月期実質GDP
14 8月投入・産出物価指数(8:50) 7月鉱工業指数・確(13:30)  (欧)7月鉱工業生産	15 7月商業販売統計・確(13:30) 20年利付国債  (米)8月生産者物価 (米)8月小売売上高 (米)9月NY連銀指数 (米)7月企業在庫	16 7月毎月勤労統計・確(10:30) 金融政策決定会合(～17日)  (米)8月消費者物価 (米)7月対米証券投資 (米)8月鉱工業生産 (米)9月NAHB住宅市場指数 (欧)8月消費者物価	17 9月ロイター短観(8:30) 4-6月期資金循環(8:50) 7月第3次産業活動指数(8:50) 7-9月期法人企業景気予測調査(8:50) 7月建設総合統計(14:00) 日銀総裁定例記者会見(15:30)  (米)8月住宅着工件数 (米)8月建設許可件数 (米)9月フィラ連銀指数	18 7月景気動向指数改訂(14:00) 9月金融経済月報(14:00) ※平成21年基準地価(16:50) ※9月月例経済報告  (欧)7月経常収支 (トルコ)金融政策委員会 (メキシコ)金融政策委員会
21 (米)8月景気先行指数 ※(欧)9月製造業PMI(速) ※(欧)9月サービス業PMI(速) (台)金融政策委員会	22 (米)7月FHFA住宅価格指数 (南ア)金融政策委員会	23 (米)FOMC ※(独)9月Ifo景況感指数 ※(仏)4-6月期GDP(確) (豪州)4-6月実質GDP	24 ※8月貿易統計(8:50) 7月全産業活動指数(13:30) ※8月チェーンストア販売統計(14:00) ※8月全国百貨店売上高(14:30) 8月コンビニエンスストア統計(16:00)  (米)8月中古住宅販売件数 (ベトナム)7-9月期実質GDP	25 金融政策決定会合議事要旨(8月10,11日分)(8:50) 8月企業向けサービス価格指数(8:50)  (米)8月耐久財受注 (米)9月ミシガン大消費者センチ(確) (米)8月新築住宅販売件数
28	29 8月消費者物価・全(8:30) 9月消費者物価・都(8:30) 2年利付国債  (米)9月CB消費者信頼感指数 (英)4-6月期GDP(確)	30 8月鉱工業指数(8:50) 8月毎月勤労統計(10:30) 8月住宅着工統計(14:00)  (米)4-6月期GDP(確) (米)9月シカゴPMI (欧)9月消費者物価(速)	10/1 9月日銀短観(8:50) 8月商業販売統計(8:50) 9月自動車販売(14:00) 9月軽自動車販売(14:00)  (米)8月個人所得・消費 (米)9月ISM製造業指数 (米)8月中古住宅販売保留 (米)8月建設支出 (米)9月自動車販売 (欧)9月製造業PMI(確)	2 8月労働力調査(8:30) 8月一般職業紹介状況(8:30) 8月家計調査(8:30) 9月短観業種別計数及び調査全容(8:50) 9月マネタリーベース(8:50)  (米)9月雇用統計 (米)8月製造業受注 (欧)8月生産者物価

(※)印は期日が未定のもの

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。